



Broaden your horizons ⑩ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

先日、第13回次世代の薬剤師を創る会を開催いたしました。今回も九州から、岡山から、名古屋から新幹線や飛行機を使って皆さん参加してくださいました。

一般口頭発表では佐賀県から参加してくださいました回生薬局：吉久保匡甫先生から、「現代の食事情・養生」について発表して頂きました。これからの医療を支えていく薬剤師として、未病から関わるべきとし、栄養について実験ビデオも撮ってきてくださり、糖から医薬部外品まで、広げてお話頂きました。フロアーからは私も実践した糖質抜きダイエットの話や、希少糖の質問なども出て、盛り上がりました。

次に「在宅医療」についてマルゼン薬局の山門稔和先生から発表がありました。週2回の往診同行から、実際の症例を踏まえ、医師より受けた質問や改善案など具体的な発表をして頂きました。座長の神戸朝日病院の金啓二先生から「クリアチニン値は薬剤師の本丸。今後薬剤師は服薬コーディネーターとなるべき」というお話を頂きました。

特別講演では、京都学園大学人間文化学部心理学科准教授伊原千晶先生から、「患者支援の為の臨床心理の活かし方」についてご講演頂きました。先生は薬剤師として数年働いた際に疑問を感じ、心理の世界に入られました。私はその心理の世界と薬剤師の世界を繋ぐカタチで交流させて頂くようになり、先生とはいつも話が尽きないのです。「カウンセリングとは医療モデルではなく、成長モデルである」とお話くださり、ロールプレイも実施しました。今、栄養士さんもカウンセリングのロールプレイを実践していらっしゃるようで、食事療法から糖尿病の患者さんへのカウンセリングなど、具体的事例を薬剤師も実践してみました。

カウンセリングとは、受動的に、積極的に聴くことから始まることをみんなで体感し、患者さんは「病気の先生だ」と思って、教えてもらう気持ちで話を聴いていきましょうと伊原先生は結びました。確かに病気とは主観的なモノです。それを薬剤師が共感していくためには、教えてもらう気持ちで聴かなければいけないと改めて思いました。

心理カウンセラーにご興味のある方は、無料体験講座もありますので、メディセレのHPを覗いてみてください。

【メディセレスクール 心理カウンセラー養成講座 <http://www.medisere.org/>】

Medisere (メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子